

平成22年度 宇都宮市立豊郷南小学校経営方針

1. 教育目標

(1) 基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち、創造的に考え、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標

＜児童像＞

- ・ 健康でがんばる子
- ・ 礼儀正しく思いやりのある子
- ・ きまりを守り責任を果たす子
- ・ 進んで勉強し工夫する子

＜合言葉＞

- **元気いっぱい** <体>
- **やさしく** <徳>
- **正しく** <徳>
- **かしこく** <知>

＜児童像に迫る学年目標＞

	元気いっぱい	やさしく	正しく	かしこく
1・2年	元気に遊び がんばる子	みんなと仲よ くできる子	やくそくを守 る子	よく聞いて、 考える子
3・4年	元気でがんば る子	あいさつができ、 仲良く助け合う子	きまりを守り、 進んで働く子	進んで学び、 よく考える子
5・6年	健康でがんば る子	礼儀正しく思 いやりのある子	きまりを守り 責任を果たす子	進んで勉強し 工夫する子

2. 学校経営理念

創立115年の本校の伝統と校風を引き継ぎつつ、すべての教職員の力を結集しこれからの新しい時代を生きる豊郷南小の児童一人一人の確かな成長を保証するとともに、保護者・地域社会から理解と信頼を得られる学校経営を目指す。

どの子も「伸びる」、その子たちを確実に「伸ばす」学校

3. 学校経営の方針

(1) 『明るく気力ある学校』を目指して

- ① あいさつと笑顔があふれる学校
 ＜児童同士 児童と教師 教職員同士＞
- ② ワクワクしながら登校し、満足して下校できる学校
 ＜分かる授業 楽しい学校行事 良好な人間関係＞
- ③ やさしく、厳しい教育をする学校
 ＜認め・ほめ・励ます指導 是々非々の指導＞

(2) 『教育愛に満ち、活力ある組織』を目指して

- ① 児童を常に中心に据え、不断の努力をする組織
 <子どもを愛する 授業を愛する 教材研究を愛する>
- ② 職場の輪を大切にし、力を出し合う組織
 < one for all all for one 報告・連絡・相談の徹底>
- ③ 服務の厳正に努める組織
 <教育公務員としての自覚 その時、自分は何をすべきか・何ができるか>

(3) 「社会に開かれた学校」を目指して





- ① 潤いのある教育環境が整っている学校
 <物的環境…安全と清潔 美しさへの目配りと気配り>
 <人的環境…最大の人的環境は教師>
 (服装すっきり・時間きっちり・言葉はっきり・身辺整理は当たり前)
- ② 保護者・地域の人々と共有できる学校
 <丁寧な応接と誠実な対応 双方向のコミュニケーションを大切に>

4. 今年度の重点目標

第1年次

“元氣いっぱい やさしく 正しく かしこく” 伸びる豊南小の子

学校経営の重点を『“元氣いっぱい やさしく 正しく かしこく” 伸びる豊南小の子』とした。児童一人一人が持つ「伸びる力」を確実に引き出し、生きる力を培うことで、自分の未来に夢と自信を持って進むことができる子どもを育成したい。

生 き る 力	健康でがんばる子 『元氣いっぱい』		A：基本的生活習慣の育成 B：健康でたくましい体の育成 C：目標に向かって努力できる精神力の育成 目の前のハードルを乗り越えられる気力・体力
	礼儀正しく思いやりのある子 『やさしく』		A：気持ちよくあいさつが出来る子 B：思いやる心(人権を尊重し自他の生命を大切にする心) 人間関係を築くことができるコミュニケーション力
	きまりを守り責任を果たす子 『正しく』		A：ルールとマナーを守る態度の育成 B：後始末が出来る子 C：奉仕の心の育成 公德心の育成
	進んで勉強し工夫する子 『かしこく』		A：基礎・基本の定着 B：習得した知識を活用する力の向上 C：学ぶ意欲、自分で考え判断し表現する力の育成 読み・書き・聞く・話すなど「言語力」の育成

学校経営の重点に迫るための具体策

	目 標	達成するための具体策
元 気 い っ ぱ い	A: 基本的な生活習慣の向上	→ 規則正しい生活…早起き・早ね・朝ごはん
	B: うつのみや元気っ子プロジェクトの推進	→ ・体力増強…教科体育の充実（バランスよく） ・健康管理…保健指導の充実（自分で出来る） ・食育推進…お弁当の日や青空給食の実施
	C: 目標に向かって努力	→ 運動検定表の活用 ＜水泳・持久走・なわとび＞
や さ し く	A: 気持ちのよいあいさつ	→ あいさつ運動の実施
	B: 思いやる心の育成	→ 道徳教育 及び 人権教育の推進 ・年間指導計画による授業実施 → 縦割り班活動の充実
正 し く	A: ルールとマナーを守る態度の育成	→ ルール … 学校のきまり・社会のきまり マナー … 身だしなみ、言葉遣いなど諸作法 ＜全職員が同じ価値観を持ちその場で指導＞
	B: 後始末が出来る子	→ 忘れず丁寧に
	C: 奉仕の心の育成	→ 清掃時間いっぱい本気で清掃する児童 6年奉仕活動 年間を通した石拾い、草むしり、落ち葉拾い
か し こ く	A: 基礎・基本の定着	→ 朝の学習の時間の確保（15分を週3回） 国（漢字）・算（計算）の基礎学力向上 → 家庭学習の習慣化
	B: 習得した知識を活用する力の向上	→ 発問の工夫や練り上げの場の充実
	C: 学ぶ意欲、自分で考え判断し表現する力の育成	→ すべての教科で 読み・書き・聞く・話すなど「言語力」の育成
<p>※ 校内研修 国語科 一人1回授業公開 テーマ「生き生きと学習に取り組む子どもの育成」 ～自分の思いや考えを伝え合う学習活動を通して～</p> <p>※ 次年度完全実施となる新学習指導要領の自校化</p> <p>※ 小中一貫教育の開始に向けての周到な準備</p>		
家 庭 と の 連 携	<p>1. 早起き・早寝・朝ごはんの励行！</p> <p>2. あいさつの励行 … 親と子はもちろん、大人同士も！ 「おはよう・いただきます・行ってきます・ただいま・お休みなさい」等</p> <p>3. 手伝いの励行 … 家庭の一員である意識付けのためにも！ 必ず毎日「風呂掃除・食器洗い・おつかい・新聞取り・カーテン閉め」等</p> <p>4. 家庭学習の習慣化 … 決まった場所で、テレビを消して！ 1・2年→20分 3年→30分 4年→40分 5・6年→60分</p>	

5. 児童生徒指導、健康・体力、学習指導に関する取組

【児童生徒指導に関する取組】

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・いじめの発生件数は1件であった。悪口を言われたり、整列時に故意に押されたりすることがあった。保護者から連絡があり、関係児童と解決に向けて話し合った。現在は、一定の解消が見られ、継続指導中である。
- ・不登校は2件発生した。本人の怠惰によるものと、これといった原因が分からないものがあったが、担任を中心に継続的に指導を続けた結果、現在では元気に登校できるようになった。

(2) 学校と生活についてのアンケート

- ・「うつのみや学校マネジメントシステム」から
- ・授業と生活のきまりやマナーを守って生活していると回答した児童は82.3%であった。
- ・家の人や先生、友達に対してあいさつをしていると回答した児童は87.7%であった。
- ・きちんとした言葉遣いや返事をしていると回答した児童は81.1%であった。
- ・学校生活に満足していると回答した児童は93.9%と、高い割合を占めた。

(3) 学校生活の状況から

- ・明るく元気に生活している。
- ・朝のあいさつ運動が定着しているが、誰に対しても主体的にあいさつができる児童は少ない。
- ・休み時間等には積極的に運動している児童が多い。

2 本年度の重点課題

「基本的な生活習慣を身に付け、規則を守り楽しく意欲的に行動できる実践力の育成」

3 本年度の取組（『スタンダード』関連には、文頭に☆）

(1) 児童指導体制の充実

- ・生活当番活動の指導の充実（通年）
- ・情報の共有化と報告・連絡・相談体制の確立
- ・児童指導情報交換（毎月）

☆いじめ対策委員会の充実（通年）

(2) 個に応じた教育相談指導の充実

☆いじめに関する実態調査の実施（5月、7月、10月、1月）

- ☆定期教育相談の実施（6月、7月、1月）
 - ・「個人の記録」を活用した継続的な指導（通年）
- （3） 基本的生活習慣の育成
 - ☆チャイム着席の徹底（通年）
 - ☆児童会と当番学級による朝のあいさつ運動の実施（通年）、強化週間の実施（5月、11月）
 - ☆朝会や集会時における、集合の仕方、話の聞き方の徹底（通年）
 - ・学習指導時における積極的な児童指導の展開
- （4） 規範意識の醸成
 - ☆道徳の時間と学級活動の時間でいじめを題材とした授業の実施（6月、12月）
 - ☆学級活動の時間で学校の決まりの理解（4月）
 - ☆あいさつ、言葉づかい、いじめ、公共マナー、携帯電話などをテーマにした保護者懇談会の実施（6月）
- （5） 居がいのある学校づくりの充実
 - ・縦割り班による「なかよし集会」の実施（通年）
 - ・学級活動などにおける、自治的な雰囲気や協調して生活できる実践力の育成。（通年）
- （6） 家庭・地域との連携
 - ・豊郷地区健全育成に関する作品募集への積極的参加（7月、8月、9月）
 - ・地域盆踊り、PTA親子ふれあい除草への積極的参加（7月、8月）

【健康・体力に関する取組】

- 1 健康・体力に関する主な実態
 - （1） 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから
 - ・男女とも、身長・体重は県平均とほぼ同じか、やや下回っている。
 - ・う歯のない児童の割合は高い。その反面う歯のある児童については未処置者が多く、本数が多い児童も目立ち、家庭によって意識の違いが大きいように思われる。
 - ・低視力の児童は全国平均に比べると少ないが、学年が進むにしたがって増加の傾向がある。
 - ・県の平均値と比べると、男女とも、上体起こしが優れている。学年が上がるにつれて、男子は50m走に優れ、女子は立ち幅跳びに優れている。どの学年でもボール投げとシャトルランが劣っている。
 - （2） 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから
 - ・朝食や歯磨きの習慣は、定着している児童が多い。健康や体力に関して、自信があ

ると答えた児童は多い。

(3) 授業や体育的行事等への取組状況から

- ・体を動かすことが好きであり、体育の授業や体育的行事に積極的に取り組む児童が多い。

2 本年度の重点課題

自己の体力や健康を的確に把握し、適切に自己の健康・安全管理ができ、たくましく生きる児童の育成

3 本年度の取組

(1) 望ましい食習慣の形成

- ☆ 給食だよりにより、食に関する情報の提供と啓発を行う。(通年)
- ☆ 学級担任と栄養士との連携を図り、食育指導の強化を図る。(通年)
- ☆ 朝食をとっていない児童に対する個別指導を行う。(6月)

(2)健康・体力の向上

- ☆ 体育授業の導入運動を工夫し、意欲的に体力の向上を図らせる。(通年)
- ☆ ロング昼休みの時間に積極的に外遊びを行えるような環境の整備をする。(通年)
 - ・体育集会における、遊びや運動の啓発を行う。(通年)
 - ・縦割り班による異学年交流により、運動の仕方を学ぶ機会を増やす。(通年)
 - ・水泳検定・縄跳び検定の実施により、児童への意欲付けを図る。(9月・1月)
 - ・遊具を使っでの安全な遊び方の紹介をする。(通年)
 - ・健康観察を通して児童の自己管理能力の育成を図る。(通年)

(3)家庭・地域との連携協力

- ☆ 運動会(6月)や歩け歩け大会(9月)・持久走大会(11月)などの学校行事において、家庭や地域への協力・参加を促す。
- ☆ 東警察署の協力による交通安全教室(5月)・薬物乱用防止教室(10月)・スクールガードリーダーと連携した防犯教室・防犯避難訓練の実施。
- ☆ 歯の健康教室(3年)への保護者の参加の呼びかけ(9月)。

【学習指導に関する取組】

1 学習指導上の主な実態

- (1) 学習内容定着度調査、全国学力・学習状況調査から
ア 全国学力・学習状況調査から

- ・ 国語では、文章の内容に合わせて小見出しを書くことは理解しているが、筆者の表現の工夫や考えをとらえるのに課題がある。
- ・ 算数では、整数・小数・分数の四則計算はできているが、事象を観察して図形を見いだすことに課題がある。

イ 学習内容定着度調査から

- ・ 国語の「話す力・聞く力」や「書く力」はどの学年も84%を上回り、ほとんどの児童が身につけてきている。なかには、90%以上の正答率の学年もあり、十分理解しているといえる。
- ・ 国語では「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」が全体的に低い。漢字の習得は、個人差も見られ定着の度合いの差が大きい。
- ・ 算数の「数と計算」の領域は80%を上回っており、ほとんどの児童が身につけてきている。
- ・ 算数では、「数量関係の問題」や「図形の問題」などの正答率が他の設問に比べて低くなっている。

(2) 学習と生活についてのアンケートから

- ・ 「勉強が好きですか」の質問では80%以上が肯定し、好意的にとらえている。このことは、「学習していた、おもしろい、楽しいと思うときがある」と答えた児童が9割以上いることから理解できる。
- ・ 「本やインターネットを利用して、学習に関する情報を得ている」の質問では、60%前後の肯定割合で他の質問に比べて低い。
- ・ 「テストで間違えた問題をもう一度やり直すこと」や「授業で習ったことをその日のうちに復習する」などに肯定的に回答する児童の割合は、中学年や高学年になると減少する傾向にある。

(3) 授業等への取組状況から

- ・ 学習課題に対してまじめな態度で取り組み、グループ活動や体験的な活動は主体的に行うようになってきている。
- ・ 総合的な学習や生活科での活動をとおして、協力しながら問題を解決しようとする態度が育ちつつある。
- ・ 話合いや発表の場で多様な意見を出し合い、意見の集約をすることが十分でない。

2 本年度の重点目標

生き生きと学習に取り組む子どもの育成
～自分の思いや考えを伝え合う学習活動を通して～

3 本年度の取組（『スタンダード』関連には、文頭に☆）

（1） 基礎的・基本的な学習内容の定着

- ・全教科で「読み・書き・聞く・話す」などの言語力の育成
- ☆国語・算数における標準時数を上回る授業時数の確保
- ☆火・木・金曜日の「朝の時間」に漢字と計算の練習（毎週3回）
- ☆話の聞き方や話し方などの基本的な学習態度や学習技能の徹底（通年）
- ☆漢字や計算の小テストの実施（通年）
- ・少人数指導や習熟度別指導などを取り入れた個に応じた指導の工夫（通年）
- ・学習内容の繰り返し学習の工夫と指導内容の重点化（通年）
- ☆学習内容定着度調査，学習・生活アンケートの結果の公表（3月）
- ・授業内容を理解するための個別指導の実施（通年）
- ・グループやペアによる話し合い活動の充実（通年）

（2） 自主的，主体的な学習の推進

- ・国語科を中心に伝え合う学習活動の充実〈市教委への要請訪問を年2回依頼〉
(通年)
- ・興味をもって課題を発見し，自ら解決しようという学習意欲を高める工夫
(通年)
- ・体験学習や作業学習など身体を使いながら学習できる場の設定（通年）
- ・成就感や達成感を味わいながら，表現技能を高められる場の設定（通年）
- ・友達と練り合いながら，互いのよさを認め合う場の設定（通年）
- ・学習過程を振り返り，新たな課題に気づいていく場の設定や方法の工夫
(通年)
- ☆自主学習や家庭学習の習慣化の工夫（通年）
- ☆水曜日の「朝の時間」の全校一斉読書の実施（通年）
- ☆ボランティアによる「読み聞かせ」の実施（毎月1回）
- ・校内読書週間の実施・読破賞の表彰（11月）

（3） 教材教具・地域人材等の有効活用と家庭との連携

- ・児童の興味・関心，知的好奇心に応じられる教材教具の工夫（通年）
- ・自発的な課題解決を促すような教材の開発と選択（通年）
- ☆「街の先生」などのボランティアの協力を得た授業や学習支援の実施（通年）
- ☆保護者会で規則正しい家庭での生活についての情報交換の場の設定（6月）
- ・インターネット活用による授業内容の充実（通年）
- ・ビデオや挿絵による道徳教育の実践（通年）

6. 特色ある学校作り

『僕らの学校大好き』プロジェクトの展開



趣 旨

自分が毎日通う豊郷南小学校を、もっともっと大好きになるように、また、子どもたち同士の結びつきがより深まるようなイベントを年間を通して計画的に実践していくプロジェクトである。

実施月	実施イベント	ねらい	様 式	担当者	時 数
4 月	・学校知ろう『学校物知り大会』 ※ 創立記念日に	かしこく	個 人	教 務	朝の会
5 月	・クリーン作戦『石拾い』	正しく	クラス毎	清掃主任	全体練習時
6 月	・パワー全開『豊南小運動会』 ・みんな仲良く『1年生と遊ぶ会』	元気いっぱい やさしく	色 別 縦割り班	体育主任 児童会	学校行事 児童集会
7 月	・学校大好き『写生大会』 ※ 青空給食を実施 ・自分を表現『ミュージックフェスタ』	やさしく かしこく	図 工 個 人	図工主任 音楽主任	2 時間 なかよし
9 月	・学校知ろう『樹木名あて大会』	かしこく	縦割り	理科主任	なかよし
10 月	・クリーン作戦『清掃週間』 ・みんな仲良し『歩け歩け大会』 ※ 弁当の日を実施	正しく やさしく	縦割り班 縦割り班	清掃主任 遠足係	清掃時 児童集会 3 時間
11 月	・自分に負けるな『持久走大会』	元気いっぱい	個 人	体育主任	1 時間
12 月	・クラス団結『ドッジボール大会』 ・自分を表現『ミュージックフェスタ』	正しく 元気いっぱい かしこく	学 級 個 人	児童会	なかよし
1 月	・クリーン作戦『落ち葉拾い』	正しく	縦割り班	清掃主任	清掃時
2 月	・6年生に感謝の会 ・卒業を祝う会	やさしく やさしく	児童会 学年	5年担任 6年担任	学校行事 学校行事
3 月	・クリーン作戦『清掃週間』 ・6年生同窓会へ入会	正しく やさしく	縦割り班 学年	清掃主任 6年担任	清掃時 学校行事